

平成28年産埼玉ナシの生育経過について

平成28年7月30日

埼玉県農業技術研究センター

高度利用・生産性向上研究担当 果樹研究

1 開花期

3月の日平均気温は9.0℃で平年比+1.5℃であり、2月から平年より気温が高く推移したことにより、開花時期が早まった。

開花始めは、平年よりも「幸水」、「豊水」で4日早く、満開日は、「幸水」で4月14日（平年比4日早い）、「豊水」で4月12日（平年比3日早い）となり、昨年と比べると「幸水」では開花始めは3日遅かったが、満開は1日早い開花、「豊水」などの開花の早い品種は2～3日遅い開花始めであったが、開花終りは同日となった。

2 結実

開花期間は風が強い日があったものの気温が高く、すべての品種の人工受粉作業は、ほぼ順調に行うことができた。

そのため、着果、結実もよい傾向であったが、やや有てい果の発生が多い年となった。

昨年みられた3月下旬に採取された「松島」の花粉の発芽率が極端に低いなどの問題は生じず、花粉の発芽率も安定していた。

3 果実肥大

開花期以降も気温が高い傾向が続いたため、産地での初期肥大は良好であった。5月18日～29日までの間、降水量がゼロであったが、5月～6月の日照時間は平年を上回り、果実肥大には、好影響であった。

7月30日現在 短果枝上果実の横径

単位：mm・日

品種名	短果枝果実横径	平年値	平年比
幸水	81.5	81.8	-0.3
幸水GA	89.4	87.5	3.9
豊水	81.1	74.7	7.3
彩玉	91.5		
あきづき	83.7		

4 収穫予測

収穫開始は、「幸水」GA処理で7月30日、「幸水」無処理は8月5日、「彩玉」は8月14日、「豊水」は、8月21日頃と予想している。

5 病害虫・災害等

病害

- ・黒星病：4～5月は平年並みの発生であったが、梅雨期の雨で発生がやや多くなっている。
- ・赤星病：やや多い傾向は今年も継続しているが、問題となる程度の発生ではない。

虫害

- ・アブラムシ：発生時期が早く、やや多い傾向であった。ユキヤナギアブラムシは発生が継続しているようである。
- ・カメムシ類：ツヤアオカメムシが多い傾向にある。新しい世代の飛来が開始されると果実の吸汁には十分な注意が必要。
- ・ニセナシサビダニ：近年、先端葉のみならず新梢全体に葉のモザイク症や新梢節間の褐変や亀裂の発生などの症状が拡大している。今年は新梢伸長初期から「あきづき」を中心に「幸水」「彩玉」も被害を受けている。
- ・ハダニ類：発生は早まっている。激しい雷雨がないために雨による洗い流しが生じていない。今後の多発に注意。
- ・シンクイムシ類：4月の病害虫防除所の調査ではトラップ数は非常に多い傾向であり、被害多発園も散見されている。
- ・ハマキムシ類：発生は早まっているが、発生数は平年並み。

気象災害

- ・強風：4月29日 最大瞬間風速22.7m/S（アメダスさいたま観測所）
多目的防災網が破れる被害あり
- ・降雹：7月14日 雨交じり 米粒～大豆大 所沢市、上里町、久喜市、白岡市
いずれも実害なし

生理障害

・豊水のみつ症：予測値は発生の多かった平成5年並みであり、発生はやや多いと思われるため、収穫開始1～2回目の収穫物については果実を切り、発生状況を必ず確認する。多発園では、販売を控えるなどの対策を講じる。